

氏名	木原隆司
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第 号
学位授与の日付	平成16年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Intravenous Vitamin D Therapy Reduces PTH-(1-84)/ Large C Fragments Ratio in Chronic Hemodialysis Patients (血液透析患者に対するビタミンD静注療法によるPTH-(1-84)/ Large Cフラグメント比の低下についての検討)
論文審査委員	教授 森島恒雄 教授 筒井公子 助教授 松浦栄次

学位論文内容の要旨

(目的)腎性骨異栄養症は慢性腎不全患者の大きな合併症の1つである。Large C-PTH(parathyroid hormone)フラグメントは副甲状腺より分泌され、PTH-(1-84)に対して拮抗作用をもつ。PTH-(1-84)/Large C-PTHフラグメント比はPTHの生合成およびプロセッシングを反映している。血液透析患者に対するビタミンD静注療法下の新たな骨代謝指標を見出すため、PTH-(1-84)/Large C-PTHフラグメント比を測定した。

(方法)インタクトPTHが300pg/ml以上の患者17人を対象とし、カルシトリオールまたはマキサカルシトールを78週間にわたって経静脈的に投与した。インタクトPTH, PTH-(1-84), PTH-(1-84)/Large C-PTHフラグメント比を0, 13, 26, 52, 78週目に測定した。

(結果)インタクトPTH, PTH-(1-84)値は有意に低下したが、Large C-PTHフラグメント値に有意な変化はみられなかった。PTH-(1-84)/Large C-PTHフラグメント比は有意に低下した。

(結論)PTH-(1-84)/Large C-PTHフラグメント比はPTHの副甲状腺よりの生合成、プロセッシング分泌の変化を反映し、PTHの全般的な生物学的作用およびビタミンD静注療法下での血液透析患者の骨回転状態のよい指標となりうる可能性が考えられる。

論文審査結果の要旨

本研究は慢性腎不全患者、とくに血液透析患者に対するビタミンD静注療法における新たな骨代謝指標を見出すことを目的として行われ、PTH-(1-84)/Large C-PTHフラグメント比を測定することが、PTHの生物学的動態を把握し、ビタミンD静注療法下における血液透析患者の骨回転状態のよい指標となるという重要な知見を見出したもので、価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位の資格があると認める。